

提 言（案）

- 1 二宮町教育委員会は「めざす子ども像※」の実現に向けて自尊心、自己肯定感を高め、幸せに生きるための教育を進めること

※二宮町教育委員会「めざす子ども像」

「自分の心と身体にまっすぐに向き合い、自分の良さを発揮し、自己実現できる子ども」「多様な価値観を大切にし、互いの良さを引き出しあい、主体的に他者と協働できる子ども」「二宮に愛着と誇りを持ち、社会に貢献できる子ども」

- 2 二宮町教育委員会は施設一体型小中一貫教育校の可能な限り早期の設置に向けて設置計画を明確にするとともに設置場所の選定、学区再構築、通学手段など具体的な検討を開始すること
- 3 二宮町教育委員会は施設一体型小中一貫教育校設置に向けては、設置場所、学区等について地域との合意形成を図り、地域と共に町づくり、学校づくりを進めること
- 4 二宮町教育委員会は二宮町の学校教育に係る課題である不登校及び小規模化に対して施設一体型小中一貫教育校設置による構造的な改善を図ること

提言理由（案）

- 1 二宮町教育委員会は「めざす子ども像※」の実現に向けて自尊心、自己肯定感を高め、幸せに生きるための教育を進めること

※「自分の心と身体にまっすぐに向き合い、自分の良さを発揮し、自己実現できる子ども」「多様な価値観を大切にし、互いの良さを引き出しあい、主体的に他者と協働できる子ども」「二宮に愛着と誇りを持ち、社会に貢献できる子ども」

① 二宮の子どもたちの課題とめざす子ども像

研究会では、二宮町の子どもたちが抱える現状の課題を出し合い、義務教育終了時15歳の姿を見据え、9年間の義務教育の中で育てたい子ども像について、また、その子ども像へ繋がっていく道筋、終了時の子どもの姿、小中一貫教育の中でできること、環境づくりについて協議した。

そして、現状では「自尊感情、自己肯定感」「人と人とがつながる力」「地域への関心や関わり」「国際的視野」「多様性の相互理解」「学力の格差と二極化」等に課題があることが指摘された。

こうした課題を踏まえ、めざす子ども像としては「地域を知って地域を愛し、世界に羽ばたいていく子」「自分の強みを知り生かせる子」「自尊感情、自己肯定感が高く、他者に優しい子」が挙げられ、「学校」「家庭」「地域」がそれぞれの役割を認識すること、「めざす子ども像が育つ教育の仕組み」が必要であることが確認された。

・・・・・・・・・・以下 略・・・・・・・・・・